

真龍小便り



真龍小学校の子ども

つながりを求める子
かかわりを求める子
納得を求める子



平成29年7月26日発行 No.6

夏休みに向けて

校長 武田 昌彦

入学式、遠足、運動会などの大きな行事を含め、前期第一ステージに予定されていた教育活動は、無事に終了できましたことは、皆様方のご協力のおかげと深く感謝申し上げます。本当にありがとうございました。

さて、明日から夏休みに入り、子ども達は、ご家庭へ、地域へと帰っていきます。そこで、長い休みだからこそ、保護者の皆様や地域の方々に、ぜひ子ども達と関わっていただきたいと考えております。それは、特段変わったことではなく、日常生活の中での挨拶や会話、家のお手伝いなどの体験することから得られるであろう心の触れあいや充実感、そして地域に対する愛情などです。普段は慌ただしく過ごしがちな毎日ですが長期休業中はゆっくり流れる時間の中で関わっていただきたいと思います。

夏休み中は、普段に比べ家族との時間、様々な行事にも参加して地域の方々と過ごす時間が増えて参ります。だからこそ、自分は自分を取りまく環境の中で、多くの人々に支えられ、その中で育ち、生きているのだということを実感してもらいたいと考えています。

この休みが、事故無く、子ども達が安全に生活できますよう生活の様子や周囲の環境等でもお気づきのことがありましたら、学校へぜひご連絡ください。家庭と学校が連携して安全確保に努めていきたいと思っております。この25日間は子ども達にとって楽しく思い出に残る、有意義な夏休みとなりますことを心より願っています。

8月21日(月)からの第二ステージ開始。全員と元気に会えることを楽しみにしています。

3つのお願い

《命を大切に》

子どもたちの日常を見回すと、危険が思った以上に多いものです。注意事項を守ること大切なことですが、自分で危険を予測して回避する力はもっと大切です。日常生活の中で結果を予測するなど、考えながら行動してほしいと思います。

《休みでなければできないことを》

様々なことに挑戦して、体験の中から学んで欲しいものです。いろいろな体験から感じ、経験することで身につくことはとても多くあります。計画的に生活し、普段ではできないことに挑戦してほしいと思います。

《基本的な生活のリズムを守って》

成長を遂げる子どもたちにとって健康な体がすべての基盤となります。休み中は、生活のリズムが崩れやすいものです。「早寝、早起き、朝ごはん」に心がけて、規則正しい生活を送り、体調を自己管理しながらいろいろなことに挑戦してください。普段よりゲームなど行いやすくなります。ゲームの時間は短めにしましょう。

8月のこよみ

日	曜	行事
1	火	夏季休業(~20日)
2	水	
3	木	
4	金	
5	土	
6	日	
7	月	
8	火	
9	水	
10	木	
11	金	山の日
12	土	
13	日	
14	月	
15	火	
16	水	
17	木	
18	金	
19	土	
20	日	
21	月	前期第二ステージ開始 作品展準備
22	火	夏休み作品展~28日
23	水	
24	木	
25	金	劇団四季「心の劇場」6年生
26	土	
27	日	
28	月	参観日2・4・6年
29	火	5年生宿泊研修 情報館読み聞かせ
30	水	5年生宿泊研修
31	木	5年生休業日

第2ステージへ向けてステップアップするために

基礎学力をより定着させるためには、夏休み中の復習がとても大切です。そこで、教務主任の井上先生と、算数の少人数指導を担当している小川先生に、学習のポイントをまとめてもらいました。

家庭学習を見直すために

文責 教務主任 井上 哲平

お子さんが学校で学んだことをしっかりと定着するために、家庭で学習する時間を確保することはこの上なく大切なことです。遊びたい盛りの子ども達です。やみくもに「やりなさい!」と言いつけても、自発的な学習にはなりません。そこで、夏休みが始まるこの時に、お子さん自身が必要感を感じて学びを深められる環境作りについて、一緒に考えてみたいと思います。



①やる気にさせる声かけを!

例えば、こんな声かけはいかがでしょうか。

「今日はどんな勉強をするの?」「どれくらいできるようになったのか見せて。」「終わった後、〇〇しようか!」

②集中して学習に取り組める環境作りを!

他の事に気を取られるような環境だと、なかなか集中して学習にのぞむことができません。きれいな机の上で、静かな部屋で、この2点だけでもかなり違ってきます。机の上に食べ物があったり、雑誌があったり、テレビがついていたり...。気が散ってしまうものは極力排除しましょう。

③学習のチェックを!

保護者の皆さんに見られるとなると、子ども達もがんばらなければならない状況に追い込まれます。字を丁寧に書いたり、決められた時間はしっかりやろうという気になります。一緒に勉強する時間を作ったり(特に1, 2年生の保護者には、学習習慣確立のためにお願ひしいところです)、終わった後にチェックする習慣をつけていただいたりすると、お子さんもやる気がでるはずですよ。また、保護者の皆さんにとっても、学校で学んだことがお子さんにどれくらい定着しているのかを確認できたり、学校でどのような学習をしているのかを知るきっかけになったりもします。

学校は小さな社会です。子ども達は、成長して「社会」に飛び出した時に必要な生き方を学んでいます。今、やるべきことにきっちり取り組んでいる子は、大人になったときにいい仕事をするはずですよ。お子さんの将来を見据え、学校、家庭、地域で協力し合いながら、成長を見守っていききたいですね。

算数の学習で気をつけてほしいこと

文責 算数少人数指導担当 小川 衛

◎定規(じょうぎ)を使ってね

おうちで勉強するときも筆算の線は定規でひいてください。位(くらい)のまちがいが少なくなるだけでなくノートがきれいになりますよ。

「定規、なくてもいいかな〜。」の気持ちは「算数どうでもいいや」になってしまいます。方眼(ほうがん)に図形やぼうグラフなどをかくときも、まず目からはみ出ないようにかいてください。丁寧にしようと思うことの積み重ねが算数を得意にしてくれますよ。本当です。(また反対に、算数が好きになってくるにつれ、ノートがきれいになるのも事実です。)

◎「やらない」をなくそう

まちがってしまった問題は正解するまで取り組みましょう。わからなかったりして後まわしにした問題は後から必ずやりましょう。「やらないでもいいや。」と思う気持ちが出ないようにがんばってください。わからないときは学校に電話して、私、小川に聞いてくれてもかまいませんので、待っています。

◎教科書で勉強を

プリントなどでたくさん取り組むのもいいのですが、よい問題はやはり教科書にあります。問題の中で青くなっている問題だけに取り組むのも効果があります。青の問題を間違えたら、その次に書かれている問題でおさらいしましょう。教科書、大事です。



真龍おはなし隊からの 8月のおすすめ本紹介

夏休み前なので少し長めの本を紹介します。

「アサギをよぶ声」シリーズ3巻

森川成美 偕成社

長女が6年生の夏にはまった本です。縄文から弥生時代への過渡期である12才の少女の物語です。小さな村の中で、与えられた規則の中の生活に行き場のない閉塞感を感じている中、掟にそむき女の子なのに戦士をめざすアサギ。

「あたりまえをあたりまえととらえず、モノノミカタを変えて自分で考え行動しろ。」師匠に習った信念を目印に、時に迷いながらもアサギにしか聞こえない声をたよりに、彼女は自分だけじゃなく彼女を取り巻く世界も変えていくお話です。ぜひ、「毎日、なんで学校へ行くのかな?」なんて、わからなくなった時に、読んでみて下さい。目的を持って勉強することは自分自身も自分の未来も変えていける「モノノミカタ」を身に付けることだと気づけるとと思います。

任期満了で離任する ティム先生からのご挨拶です

Thank you!

As an ALT for 3 years I have enjoyed working with both students and teachers, hoping to promote fun English learning. I hope to use my experience gained here on my next job back in America.

3年間本当にありがとうございました! 厚岸の子供たちも先生方も地域のみなさんも、いつも励ましていただきありがとうございました。3年間でたくさん貴重な経験をし、学ぶことができました。厚岸で働くことができ、本当に良かったです。大変お世話になりました。これからも、英語を楽しんで学んでほしいと思っています。